

第31号 メールマガジン 水土里

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

土地改良区通常総（代）会における 新型コロナウイルス感染症対策等について

東部



毎年3月は、土地改良区の通常総（代）会の開催シーズンですが、新型コロナウイルス感染症のまん延防止などの観点から、昨年度に引き続き、通常総（代）会の開催に当たっては対策を講じて開催しています。

東部農林事務所管内の土地改良区でも、来賓を招くのをとりやめたり、組合員の出席は書面議決書を活用するなどの対応をし、限られた人数で開催しています。

また、マスクの着用や手指の消毒は総（代）会に限らず、理事会や事業に係る会議でも通常の対応となっています。

東部農林事務所用地管理課 0545-920-2163

北羽鮎地区で人・農地プランを説明

富士

富士宮市の北羽鮎地区は、中山間直接支払制度に取り組んでいます。第5期対策が開始されたことに伴い、集落戦略を策定することになっています。

基盤整備した全ての水田が、制度の対象になっているわけではないため、将来計画を作成する際、虫食い状態になってしまいます。

そこで、3月28日（日）に行われた集落の総会の際、市と農林の担当者が出席し、人・農地プランの実質化について、説明を行いました。その際、制度の対象となっていない水田についても、対象地区に含め、地権者に対するアンケートを実施していくことで、出席者の賛同が得られました。

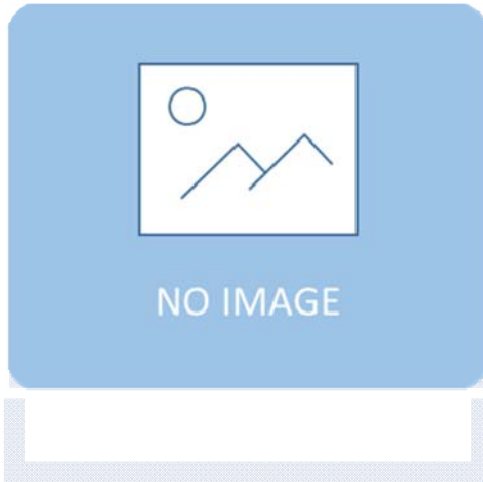


富士農林事務所では、来年度、この地区での人・農地プランの実質化に向けた支援をしていきます。

富士農林事務所生産振興課 0545-65-2194

中部

久能地区で農地所有者の意向調査を実施



静岡市久能地域の農業を活性化する施策実現のため、久能地区の農業を考える会を立ち上げました。

その活動として、2月に部農会を通じて農地所有者へ、耕作意向、農業継続のために必要な事項、農地貸借の意向等についてアンケートを実施しました。

3月にこれを集計し、生産者有志、中部農林、JA静岡市、静岡市役所で意見をまとめました。

高齢化、人手不足による産地縮小傾向の中で、経営拡大意向も見られ、農地貸借を希望する意見も予想以上にありました。

また、農道整備を希望する意向が伺えました。

4月に部農会へ結果を報告し、今後さらに具体的な意向を聴取し支援策を検討したいと考えます。

中部農林事務所生産振興課 054-286-9020
農村整備課

島田市葛籠・石風呂（北向）地区において、
農地利用についての話し合いを開催

志榛

令和3年3月23日（火）、3月24日（水）、島田市の葛籠地区、石風呂（北向）地区において、地域の農地利用について考える座談会が開催されました。

当日は、地区の地権者を対象に、農地利用の意向についてのアンケート調査結果と調査結果を元に作成した地図を見ながら、地域の今後の農地利用について話し合いをしました。

地域の農地の大半が後継者がいない状態であり、地権者は地図を見ることで現状を確認し、あらためて危機感を感じていました。

石風呂（北向）地区では、作業効率化のための基盤整備や、地域の担い手への集積についての意見が出ました。

今後、地域の農地をどうしていくのか地域で話し合いを重ね、方針を検討していく見込みです。

志太榛原農林事務所では、地域の方針検討を支援していくと同時に、地域の方針に沿った上で担い手への農地集積を支援していきます。



志太榛原農林事務所企画経営課 054-644-9225
農村整備課

発行／静岡県経済産業部農地局農地計画課
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
TEL:054-221-2722 FAX:054-221-2449
E-mail:noukei@pref.shizuoka.lg.jp

協力／賀茂農林事務所
富士農林事務所
志太榛原農林事務所
西部農林事務所

東部農林事務所
中部農林事務所
中遠農林事務所